中級統計学:宿題1

村澤 康友

提出期限: 2025年10月10日

注意:すべての質問に解答しなければ提出とは認めない. 授業の HP の解答例の結果を正確に再現すること (乱数は除く). グループで取り組んでよいが, 個別に提出すること. 解答例をコピペした場合は提出点を 0 点とし, 再提出も認めない. すべての結果を Word に貼り付けて印刷し (A4 縦・両面印刷可・手書き不可・写真不可・文字化け不可), 2 枚以上の場合は向きを揃えて問題番号順に重ね, 左上隅をホッチキスで留めること. 準備:授業の HP 掲載資料「gretl 入門」をよく読んで, gretl を使用する環境を準備しなさい.

- 1. 教科書 p. 35 のデータ A・B・C について, Excel を利用して平均・中位数・最頻値・分散・標準偏差を求めなさい. 分散・標準偏差を求める関数は各 2 種類ある (var.p/var.s, stdev.p/stdev.s). 違いを確認して適切な方を用いること.
- 2. gretl のサンプル・データ data2-1 は,カリフォルニア大学サンディエゴ校 1 年生の英語(vsat)と数学(msat)の入試成績である.このデータについて以下の 1 変量分析を行いなさい.
 - (a) 各変量の度数分布表を作成しなさい.
 - (b) 各変量のヒストグラムを描きなさい.
 - (c) 各変量の基本統計量を比較しなさい.

※メニューの「表示」または「変数」以下から実行できる。表・グラフのコピー・保存は右クリックのメニューから実行する。

- 3. gretl のメニューの「変数」→「ジニ係数」でローレンツ曲線の図示とジニ係数の計算ができる. 前問の 英語 (vsat) と数学 (msat) の入試成績について, ローレンツ曲線を図示し, ジニ係数を比較しなさい.
- 4. gretl のサンプル・データ data2-2 は、カリフォルニア大学サンディエゴ校 1 年生の大学での GPA (colgpa) と高校での GPA (hsgpa) である.このデータについて以下の 2 変量分析を行いなさい.
 - (a) 散布図を描きなさい (x 軸・y 軸の変数の選び方に注意).
 - (b) 相関係数を求めなさい.

 $※メニューの「表示」 <math>\to$ 「変数のグラフ」 \to 「XY 散布図」で散布図が図示できる。また「表示」 \to 「相関行列」で相関係数が計算できる。

解答例

1. 分散は var.p,標準偏差は stdev.p を用いる (教科書 p. 37 を参照).

	A	В	С
	_0	_ 0	_ 3
4	/3	1	1 4
	1-3	2	4
	5	3	5
7 =	5	5	5
	5	5	5
	5	7	5
	7	8	6
	7	9	6
	10	10	7
平均	5	5	5
中位数	5	5	5
最頻値	5	5	5
分散	6.6	10.8	1.2
標準偏差	2.569047	3.286335	1.095445

2. 1 変量分析

(a) 度数分布表

vsat の度数分布, 観測: 1-427

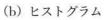
階級数 = 11, 平均 = 501.803, 標準偏差 = 91.3142

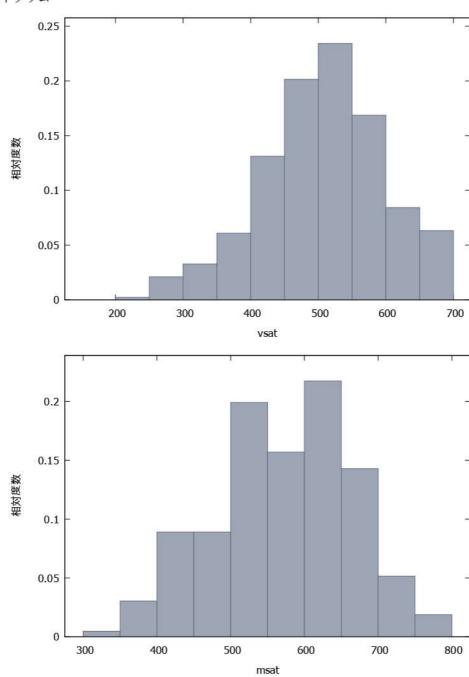
区間	中心值	度数	相対度数	累積相	対度数
< 200.00	175.00	0	0.00%	0.00%	
200.00 - 250.00	225.00	1	0.23%	0.23%	
250.00 - 300.00	275.00	9	2.11%	2.34%	
300.00 - 350.00	325.00	14	3.28%	5.62%	*
350.00 - 400.00	375.00	26	6.09%	11.71%	**
400.00 - 450.00	425.00	56	13.11%	24.82%	****
450.00 - 500.00	475.00	86	20.14%	44.96%	*****
500.00 - 550.00	525.00	100	23.42%	68.38%	******
550.00 - 600.00	575.00	72	16.86%	85.25%	*****
600.00 - 650.00	625.00	36	8.43%	93.68%	***
>= 650.00	675.00	27	6.32%	100.00%	**

msat の度数分布, 観測: 1-427

階級数 = 10, 平均 = 566.323, 標準偏差 = 93.1192

区間		中心値	度数	相対度数	累積相	対度数
<	350.00	325.00	2	0.47%	0.47%	
350.00 -	400.00	375.00	13	3.04%	3.51%	*
400.00 -	450.00	425.00	38	8.90%	12.41%	***
450.00 -	500.00	475.00	38	8.90%	21.31%	***
500.00 -	550.00	525.00	85	19.91%	41.22%	*****
550.00 -	600.00	575.00	67	15.69%	56.91%	****
600.00 -	650.00	625.00	93	21.78%	78.69%	*****
650.00 -	700.00	675.00	61	14.29%	92.97%	****
700.00 -	750.00	725.00	22	5.15%	98.13%	*
>=	750.00	775.00	8	1.87%	100.00%	



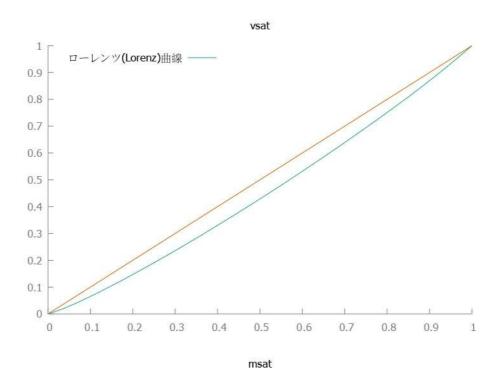


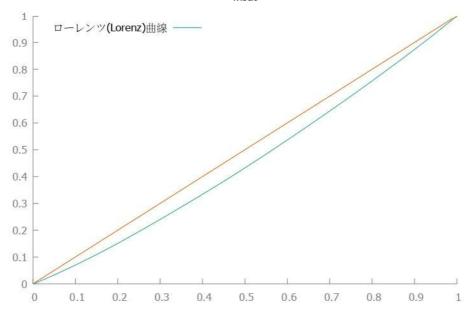
(c) 基本統計量

基本統計量 使用した観測: 1-427

変数	平均	中央値	最小値	最大值
vsat	501.80	500.00	200.00	700.00
$_{ m msat}$	566.32	570.00	330.00	770.00
変数	標準偏差	変動係数	歪度	Ex. kurtosis
vsat	91.314	0.18197	-0.33536	0.10777
$_{ m msat}$	93.119	0.16443	-0.22786	-0.54562
変数	5 百分位数.	95 百分位数.	IQ Range	欠損値数
vsat	330.00	650.00	110.00	0
$_{ m msat}$	400.00	710.00	130.00	0

3. ローレンツ曲線





ジニ係数

vsat

観測数 = 427

標本ジニ (Gini) 係数 = 0.101855

母数の推定値 (estimate) = 0.102094

msat

観測数 = 427

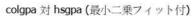
標本ジニ (Gini) 係数 = 0.0934932

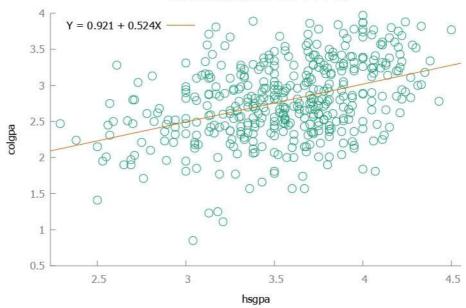
母数の推定値 (estimate) = 0.0937127

英語(vsat)の入試成績の方がジニ係数が大きく、格差が大きい.

4. 2 変量分析

(a) 散布図





(b) 相関係数

相関係数, 使用した観測 1-427 5% 臨界値 (両側) = 0.0949 但し n=427

colgpa hsgpa 1.0000 0.4067

0.4067 colgpa

1.0000 hsgpa